Microsoft Failover Cluster を利用した IMail Server フェールオーバークラスタリング構成 ガイド

# 目次

2.必要要件       3         3.注意       4         4.IIS 及びフェールオーバークラスタリングの準備       5         5.クオーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法       7         6.SQL Server の設定       10         7.IMail Server のインストール       13         8.フェールオーバーの検証及び構築       15         9.ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10.サービスの設定       21         11.フェールオーバー優先度の設定       28         12.IMail Server での設定       29         13.フェールオーバーの確認       32         14.手動で移行が必要な設定ファイル       33	1,本書の目的	
3,注意       4         4,IIS 及びフェールオーバークラスタリングの準備       5         5,クォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法       7         6,SQL Server の設定       10         7,IMail Server のひンストール       13         8,フェールオーバーの検証及び構築       15         9,ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10,サービスの設定       21         11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	2,必要要件	
4,IIS 及びフェールオーバークラスタリングの準備       5         5,クォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法       7         6,SQL Server の設定       10         7,IMail Server のインストール       13         8,フェールオーバーの検証及び構築       15         9,ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10,サービスの設定       21         11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	3,注意	
5,クォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法	4,IIS 及びフェールオーバークラスタリングの準備	5
6,SQL Server の設定       10         7,IMail Server のインストール       13         8,フェールオーバーの検証及び構築       15         9,ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10,サービスの設定       21         11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	5,クォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法	
7,IMail Server のインストール       13         8,フェールオーバーの検証及び構築       15         9,ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10,サービスの設定       21         11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	6,SQL Server の設定	
8,フェールオーバーの検証及び構築       15         9,ストレージ(共有ディスク)の設定       19         10,サービスの設定       21         11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	7,IMail Server のインストール	13
9,ストレージ(共有ディスク)の設定1910,サービスの設定2111,フェールオーバー優先度の設定2812,IMail Server での設定2913,フェールオーバーの確認3214,手動で移行が必要な設定ファイル33	8,フェールオーバーの検証及び構築	
10,サービスの設定2111,フェールオーバー優先度の設定2812,IMail Server での設定2913,フェールオーバーの確認3214,手動で移行が必要な設定ファイル33	9,ストレージ(共有ディスク)の設定	
11,フェールオーバー優先度の設定       28         12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	10,サービスの設定	
12,IMail Server での設定       29         13,フェールオーバーの確認       32         14,手動で移行が必要な設定ファイル       33	11,フェールオーバー優先度の設定	
13,フェールオーバーの確認	12,IMail Server での設定	
14,手動で移行が必要な設定ファイル	13,フェールオーバーの確認	
	14,手動で移行が必要な設定ファイル	33

1,本書の目的

本ドキュメントは Microsoft Failover Cluster(以下 MSFC)を利用した IMail Server のフェールオー バー構成構築についての説明です。

MSFC を利用する事で IMail Server で障害が発生した際に別ノードで IMail Server の稼働・運用 が可能となります。

#### 2,必要要件

MSFC の設定では下記が必要となります。

- 1) 対象バージョンは IMail Server v11.03 以降のバージョンです。IMail Server v10 以前のバ ージョンではサポートされておりません。
- Active Directory
   MSFC は Active Directory 環境で構成する必要があります。また IMail Server も Active
   Directory 上に設定されているユーザー情報を利用します。
- クラスターサーバー(別のノード)
   障害発生時に IMail Server の動作を引継ぐサーバー(ノード)が1台以必要です。
- Microsoft SQL Server 2008
   Workgroupshare のデータ及び WebMessaging のアドレス帳情報を格納します。
   Workgroupshare 又は WebMessaging を利用しない場合は不要です。
- 5) クォーラムディスク(iSCSI ターゲット) IMail Server のドメイン設定の一部、メールボックス及びログを格納します。
- 6) 3 つの独立したネットワーク MSFC 構成では 3 つの独立したネットワークを構成する為、3 つの NIC を必要とします。
  - パブリック(下記図の Public Network)
     通常のネットワーク・トラフィック及びメールトラフィックの処理を行います。
  - ストレージ(下記図の Shared Storage Network)
     各ノード(IMail Sever)とクォーラムディスクの通信処理を行います。
  - ハートビート(下記図の Heartbeat Network)
    - 各ノード間の通信を行います。

※上記3つはそれぞれ独立したネットワークである必要があります。



## 3,注意

- 1) 本ドキュメントでは Windows Server 2008 R2、SQL Server 2008 及び IMail Server v12.1 を利 用しております。
- 2) 本書では SQL Server/ SQL Server Management Console のインストールと Active Directory の構築及び iSCSIターゲット作成については触れておりません。事前に必要な環境をご用意 ください。
- 3) サポートセンターでは IMail Server の設定及び構築に関するお問合わせは承りますが、 MSFC、SQL Server、Active Directory、iSCSI ターゲット及びネットワーク構成についてのお 問合わせは承る事ができません。
- IMail Server のログ設定で「Log Server」を設定し、IMail Server ローカルで「logMMDD.txt」で ログ取得されている場合、MSFC 構成後にログが記載されない事を確認しております。 MSFC 構成後のログ設定は「sysMMDD.txt」を選択してください。 ログ取得設定については下記 FAQ をご確認ください。

No.11706「IMail Server でログ取得設定」

http://cybernet.okweb3.jp/EokpControl?&tid=80800&event=FE0006

5) MSFC 構築作業されている際にノードが切り替わる場合があります。今現在どのノードで動 作しているかについては下記の「現在のホストサーバー」よりご確認ください。

L サーバー マネージャー (KGTM-33VI	IMailServer.ITDNET.local	
□ 12割 □ 12割	クラスター IMailServer.ITDNET.local	
□ 唱 フェールオーバー クラスター マ □ 唱 IMailServer ITDNET.lo □ サービスとアプリケー:	<b>クラスター IMailServer の概要</b> IMailServerには、0個のアプリケーションまたはサービスと 2個のノー	ドがあります
kgtm=33vm4 kgtm=33vm5	名前: IMailServer ITDNET.local 現在のまるとサーバー: kgtm=33vm4	ネットワー サブネット
<ul> <li>記憶域</li> <li>田 和 ネットワーク</li> <li>助 クラスター イベント</li> </ul>	クォーラム構成: ノードおよびディスクマジョリティ(クラスター ディスク1) 最近のクラスター イベント: この24時間にはありません	55451

4.IIS 及びフェールオーバークラスタリングの準備

フェールオーバーを構成する前に、下記の作業を行います。

下記作業は IMail Server をインストールする全てのノードで実施します。

1) IIS 役割の追加

サーバーマネージャー - 役割 - Web サーバー(IIS)より役割サービスの追加を選択しま す。下記の「インストール済み」項目を選択しインストールします。

割	サービス	状態
	Web サーバー	インストール済み
	HTTP 基本機能	インストール済み
í.	静的なコンテンツ	インストール済み
2	既定のドキュメント	インストール済み
	ディレクトリの参照	インストール済み
		インストール済み
9	HTTP リダイレクション	インストール溶み
y	WebDAV 举行	インストールされていません
	アプリケーション問答	インフトール済み
)		インフトール客事
U	NFT 扩展性	イバトール済み
IJ	ACD MARKING	インフトニルギれていません
	CGI	インストールとれていません
		インストールでもしいなどの
)	ISAPI WAR	イノストニル消め
0	BAPI MUA BULL	インストニル消め (ハコトールされていません)
	サーバー1割4 ングルート	インストールされていません
	3大規設と計多世内	インストール消み
0	HIIP D2	インストール消み
0	ロクツール	インストール済み
0	要求の監視	インストール済み
0	トレース	インストール済み
	カスタム ログ	インストールされていません
	ODBC ログ	インストールされていません
0	セキュリティ	インストール済み
0	基本認証	インストール済み
0	Windows 認証	インストール済み
0	ダイジェスト認証	インストール済み
0	クライアント証明書のマッピング認証	インストール済み
0	IIS クライアント証明書のマッピング認証	インストール済み
6	URL 承認	インストール済み
6	要求フィルター	インストール済み
i.	IP およびドメインの制限	インストール済み
	パフォーマンス	インストール済み
	静的なコンテンツの圧縮	インストール済み
	動的なコンテンツの圧縮	インストール済み
	管理ツール	インストール済み
	IIS 管理コンソール	インストール済み
	TIS 管理スクリプトおよびシール	インストール済み
	管理サービス	インストール済み
9	TIS 6 管理互換	インストールされていません
	TIS 6 メタバーフ 万換	インストールされていません
	LC 0 ノバマ 八上元 TIS 6 WMT 石地	インフトニルギれていません

 2) フェールオーバークラスタリングのインストール サーバーマネージャー - 機能 - 機能の追加を選択します。
 「フェールオーバークラスタリング」を選択し、【インストール】をクリックします。

機能の追加ウィザード	x
機能の選択	
· 供給 確認 進行状況 結果	このサーバーにインストールする機能を10以上選択します。       説明         無能(E)       説明         小川大田 IS 拡張機能       アーバー         ハリント キャン       アーバー         ハリント キャン       アーバー         ハリント キャン       アーバー         ハリント キャン       アーバー         インターネット印刷した       アーバー         アンターネット記憶域ホーム サーバー       アーバー         アンターネット記憶域ホーム サーバー       アーバー         アスクトップ エリシー       アンターネット記憶域ホーム サーバー         アンターネット記憶域ホーム サーバー       アンターネット記憶域ホーム サーバー         アンターネット記憶域ホーム サーバー       アンタージョン         アンターション       アンターネット         アンターション       アンターション         アンターション       アンターション

- 5,クォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続方法 事前に用意したクォーラムディスク(iSCSI ターゲット)とサーバーの接続を行います。
  - 1) スタート 管理ツールより「iSCSI イニシエーター」を起動します。
  - 2) 起動後、探索タブ内の【ポータルの検索】をクリックし、「IP アドレス又は DNS 名」に iSCSI ターゲットの IP アドレスを入力し、【OK】をクリックします。

SCSI	・イニシエーターのプロパティ			
ター	ターゲット ボータルの探索		ſ	×
⊏⁵	追加するポータルの IP アドレスまたは DNS	6 名、およびポート番号を入	力してください。	
F	ターゲット ボータルの探索に関する既定のII す。	役定を変更する(こは、目羊細	設定] をクリックしま	₩(E)
	IP アドレスまたは DNS 名(0): [10.21.3.209]	ポート(既定値は) 3260	t 3260)(P):	
	詳細設定(A)	OK(0)	キャンセル(C)	P)
	タークットハータルを用いたするには、エビアトレ クリックします。	へを進れして 旧叩赤」を		0
	SNS サーバー システムが登録されている iSNS サーバー(I): 名前		最新の情報に	:更新(F)
	iSNS サーバーを追加する(こは、[サーバーの)É	助力] をクリックします。	サーバーの追	tha(D)
	iSNS サーバーを削除するには、上でサーバー ックします。	を選択して [削除] をりり	育JIB余(M	0
	探索と ISNS のI詳細			

3) ターゲットタブ内に 2)で検索されたターゲットがある事を確認し、【接続】をクリックします。状態の欄が「接続完了」となっていれば終了です。【OK】をクリックし画面を閉じます。

ゲット 探索 お気に入りのターゲット ボリュームとデバイス RADIUS	構成
14ック接続	
基本接続を使用してターゲットを検出し、ログオンするには、ターゲットの IP 〕 → 【クイック接続】をクリックします。	『ドレスまたは DNS 名を入力
ネーザット(D:	りイック接続(Q)
後出されたターゲット(G)	
	最新の情報に更新(R)
名前	状態
qn.1991-05.com.microsoft:win-al1eb1o03h2-imailstorage-target	接続完了
詳細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して (接続) をクリ	接続( <u>N</u> )
洋細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して (接続) をかり かします。 - ドームマログキャテクインロビーオンバイト、ドート・アメロロ ア ドロロビーキ	
詳細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して (接続) をクリ クロよす。 ーゲットの7接続を完全に切断するには、ターゲットを選択して [切断] を リックします。	接続(N) 切断(D)
詳細オプションを使用して接続するには、ターゲットを選択して 目線統〕をクリ /クします。 ローゲットの接続を完全にと切断するには、ターゲットを選択して [切断] を リックします。 ロションの掲載など、ターゲットのプロパティを確認するには、ターゲットを選 RC 「プロパティーをシリックします。	接続(N) 切断(D) プロパティ(P)
詳細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して [接続] をクリ シンよす。 コーゲットの接続を完全に切断するには、ターゲットを選択して [切断引 を リッシュンの構成など、ターゲットのフロパティを確認するには、ターゲットを選 RUC [フロパティ をジックしよす。 ーゲットに調査付けられているデバイスを構成するには、ターゲットを選択 JC [デバイス] をグリックします。	接続(N) 切断(D) プロパティ(D) デバイス(V)
詳細オプションを使用して接続するには、ターゲットを選択して 目線流」をクリ クリをす。 ターゲットの接続を完全にと切断するには、ターゲットを選択して [初明日 を リックにます。 マジョンの構成など、ターゲットのプロパティを確認するには、ターゲットを選 RC 「プロパケィーをジックします。 コーゲットに関連付けられているデパイスを構成するには、ターゲットを選択 こて 「デパイス」をグックします。 ユーズ ISCSI 接続わよびターゲットの詳細	検病( <u>N</u> ) プロパティ( <u>P</u> )… デバイス( <u>V</u> )…
詳細オプションを使用して接続するには、ターゲットを選択して [接続] をクリ クレます。 コーゲットの接続を完全に切断するには、ターゲットを選択して [切断] を リックします。 取って「ロバティーを超いつうしよう。 ーゲットに閲覧(行けられているデバイスを構成するには、ターゲットを選択 して「デバイス] をグリックします。 本 ISCSI 接続およびターゲットの詳細	接続(凹) 切断の(D) プロパティ(P)_ デバイス(ゾ)_

4) ディスク管理より接続したターゲットを右クリックし、オンラインにします。

🜆 コンピューターの管理						
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) /	√ルプ(H)					
(= =) 🎢 📅 👔 👘	ar 15					
ユンピューターの管理(ローカル)	ポリューム	レイアウト 種類	ファイル システム	状態		操作
□ 🎁 システム ツール	(C:)	シンプル ペーシック	NTFS	正常 (ブート、ページ ファイル、クラ	iッシュ ダンプ, ブライマリ パー フリール ニッシーン	ディスクの管理 🔺
<ul> <li></li></ul>	ロンステムビTriningの	2277 A-299	NIF5	正帝 (ソステム、アクティノ、ノラ1、	עבערד-א עי	他の操作
🗉 🙍 共有フォルダー						
田 ▲ ローカル ユーザーとグルーフ     ローカル ユー ローカル ユーザーとグルーフ     ローカル ユー ローカル ユー ローカル						
E C 1/3-3/2/						
🗆 📇 記憶域						
■ 示イスクの管理						
	1					
	💷 ቻィスク 0					
	40.00 GB	100 MB NTFS	39.90 GB	NTFS		
	オンライン	正常 (システム, アクラ	いブ. フ 正常 (ブー	・ト、ページ ファイル、クラッシュ ダンブ	パブライマリ パーティション	
			12			
	ベーシック					
	30.00 GB オフライン 1	30.00 GB オンライン(0)				
		プロパティ(P)				
	🔮 CD-ROM (	20/0407				
	DVD (D:)	AND (H)				
	メディアなし					
	■未割り当て■フラ	ライマリ パーティション				
						<u> </u>

5) ディスクをNTFSでフォーマットします。この段階ではドライブレターは付加しないでください。 またボリュームラベルに任意の名前を付加します。この例では「Qurum」としています。

4. コンパー・シーク学術	
2017-1 / のもそ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)	
	操作
T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターの管理(ローカル)     T-Vビューターのドロ・ローカル ユーザーとジルー     T(X) マオーアー     T(X) マオーアー     T(X) マオー・アー     T(X) マオー・     T(X) (X) ロー     T(X) (X)	排作           ディスクの管理         ▲           他の操作         ▶
() () () () () () () () () ()	-
▲ 未割り当て ■ ブライマリ パーティション	]

6) フォーマットが終了しましたら本画面を閉じます。

🥵 コンピューターの管理								_ 🗆 🗙
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ^	∪ルプ(H)							
🗢 🔿 🖄 📅 🔽 🖬 😫 🛛	<b>1</b>							
🔚 コンピューターの管理 (ローカル)	ポリューム	レイアウト	種類	ファイル システム	状態		操作	
日 🎁 システム ツール	(C:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (ブート、ページ ファイル、ク	ラッシュ ダンプ. プライマリ パ・	ディスクの管理	-
I U 40 タスク スケジューフ II I A イベント ビューアー	Qurum ついフテルで予約注意	シンブル	ベーシック	NTES	正常 (ブライマリ パーティション) 正学 (シフテリ アクティブ プライ	マリパーティションル	他の操作	•
国 🐻 中心の中にユーノ		<i>&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;&gt;</i>	11-999	NIFO	正市(ジス)ム,アジ)17, アプ	VUT JIJJJ		
田 🌆 ローカル ユーザーとグルーフ     ローカル ユーザーとグルーフ     ローカル コーザーとグルーフ     ローカル コーサーとグルーフ     ローカル コー								
🗆 📇 記憶域								
■ ディスクの管理 ■ ■ ■ サービスとアプリケーション								
	•					Þ		
	ー エイスク U ベーシック	システムで	予約済み	(C:)				
	40.00 GB オンライン	100 MB N 正常 (シス・	TFS ተለ ፖሳተィ	びこ 39.90 GB	NTFS トページファイル カラッシュ ダンコ	たづライマリ パーティション		
	📼 📆 (አ/) 1							
	ベーシック 30.00 GB	Qurum 30.00 GB	NTES					
	オンライン	正常 (プラ	イマリ・パーテ	イション)				
	0							
	DVD (D:)							
	メディアなし							
		/						
	■木割り当(■フ;	71 YU K~:	アイソヨン				<u> </u>	

## 6,SQL Server の設定

Workgroupshare 又は WebMessaging を利用しない場合、本作業は不要です。 「7,IMail Server のインストール」へ進んでください。

- 1) SQL Server 及び Management Console をインストールし、Management Console にログインし ます。
- 2) ツリーより Database を右クリックし、「New Database」を選択します。

Database name は「WorkgroupShare」を設定し、【OK】をクリックします。

🍢 Microsoft SQL Server Management	Studio						_ 🗆 🗙
File Edit <mark>View D</mark> ebug Tools Wir	ndow Community Help						
😳 New Query   📭   🕞   📁 🗐 🍊	🕰 _						
Object Explorer							a
Connect + 🚚 💐 🔳 🍸 🛃 🍒	New Database						1
🖃 🐻 kgtm-96d (SQL Server 10.50.1600 - 1	General	Script • 🚹 Help	)				
🗉 🚞 Databases	P Options	Databace name:		Work groupS	ihare		
E Security      F Server Objects	Filegroups	Owner:					
		Owner:		Ruerauitz			
🕀 🚞 Management		🔽 Use full-text in	dexing				
		Database files:					
		Logical Name	ile Tune	Filegroup	Initial Size (MR)	Autogrowth	
		WorkgroupSh F	Rows D	PRIMARY	3	By 1 MB, unrestricted growth	
		WorkgroupSh L	.og	Not Applicab	1	By 10 percent, unrestricted gro	
1	Connection						
	Connection						
	Server: kgtm-96d						
	Connection:						
	ITDNET¥administrator						
	View connection						
	properties						
J	Progress						
Ready	Ready						1.
44=T ED	Teaser.				<u>A</u> dd	<u>R</u> emove	
1史言正/七							
						OK Cancel	
							Ø

3) ツリーより Security - Logins を右クリックし「New Login」をクリックします。



4) Login name は「ドメイン名¥コンピューター名\$」を設定します\*。

また Default database では「WorkgroupShare」を選択します。 \*検証環境のドメイン名が itdnet.local と設定しております。この際に.local まで設定するとエ ラーとなりました。この設定は環境によって異なる場合もございます。またコンピューター名 の後ろに「\$」を付加してください。

Select a page Script  General Gerver Roles Gerver Roles Gervarbles Securables Status Cogin name: Gervarbles Cogin contentication Cogin Securables Cogin Contentication Cogin Securables Cogin Sec	itdnet¥kgtm-96vr h tion	n2\$	Sgarch
General       Server Roles       Login name:       Securables       Status	itdnet¥kgtm-96vr tion	n2\$	S <u>e</u> arch
Server Roles     Login name:     Login name:     Securables     Status     Solution	itdnet¥kgtm-96vr n tion	n2\$	S <u>e</u> arch
Securables	tion		
Status C SQL Server authentica	tion		
Password:			_
Confirm password:			-
🗖 Specify old passwo	rd		
<u>O</u> ld password:			_
Enforce password p	olicy		
Enforce password e	expiration		
🔽 User must change	password at next login		
Mapped to certificate			-
C Mapped to asymmetric	key		-
□ <u>M</u> ap to Credential		_	✓ <u>A</u> dd
Mapped Credentials	Credential	Provider	]
Server: kgtm-96d			
Connection: ITDNET¥administrator			
뫧 <u>View connection</u> properties			
Progress			Remo <u>v</u> e
Ready Default database:	WorkgroupShare		·]
Default language:	<default></default>		•
		ОК	Cancel

5) ツリーの User Mapping より Workgroup Share を選択します。

Database role membership for : WorkgroupShare より下記を選択します。

- db\_datareader
- db\_datawriter
- db\_owner

※public はデフォルト設定のままにします。

上記選択後、【OK】をクリックします。

🚪 Login Properties – ITDNET	¥kgtm-33	vm4\$			_ 🗆 🗙						
Select a page	🕄 Script 🤜	r 🖪 Help									
🚰 General											
🚰 Server Roles	Users mapped to this login:										
😭 User Mapping			11								
Securables	мар	Uatabase	User	Derault Schema							
📑 Status		master									
		model									
		msdb									
		tempdb									
		WorkgroupShare	ITDNET¥kgtm-33vm4\$	dbo							
Connection	Guest	account enabled for: Worke <u>r</u> ole membership for: Worke	roupShare groupShare								
	db_act	ckupoperator									
Server: ketm-96d	🔽 db_dat	tareader									
Commention	db_dat	tawriter Iadmin									
ITDNET¥administrator		nydatareader									
View connection	db_der	nydatawriter									
properties	db_ow	ner Suritvadmin									
Deserves	☐ db_set	sungaannin									
Trogress											
Ready											
To a por											
	-										
				OK Car	ncel						

6) 上記 4)と 5)をフェールオーバーを構成するノード(サーバー)毎に設定を行います。

7,IMail Server のインストール

フェールオーバーを構成する各ノードに IMail Server をインストールします。 IMail Server のインストールについてはインストールガイドをご確認ください。 インストールに際しては下記 2 点にご注意ください。

 WebMessaging 又は Workgroupshare を利用する場合はデータベース選択時には「Use an Existing Local SQL Server」を選択し、「6,SQL Server の設定」で設定したサーバーを選択し ます。

WebMessaging 又は Workgroupshare を利用しない場合は「Use an Access MDB Database」 を選択します。

Plea	ase select one	of the options	below	neace milorin	IMa	ail Ser <u>ve</u>
					7	
O Ir	nstall SQL Serv	er Express				
T I	his option will MAILSERVER	install Microsof	t SQL Serv	er Express 200	18 SP1 with an insta	nce name of
ΘŬ	se an Existing	Local SQL Serv	/er			
Т	his option will	allow you to se	elect an exi	sting SQL Serv	er installation instal	led on this serve
Οu	se an Access I	MDB Database				
Т	his option will	create an acce	ess databa:	e in the installa	ation folder	
over shoul	100 active use 100 only be used	ers or users rel for IMail Serv	ever perfor ying heavil ers with sr	y on Calendars all user counts	and Contacts, Acc ,	ess database
rouwn	iold					
calion	ield —			< Back	Next >	Cancel
calibn	ield ———			< <u>B</u> ack	Next >	Cancel
calibn	ield ———			< <u>B</u> ack	Next >	Cancel
IMai	ieldil Server - 1	InstallShield	l Wizard	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel
IMai Data	ield il Server – 1 hase Server	InstallShield	d Wizard	< <u>B</u> ack	Next >	Cancel
IMai Data Sek	il Server – 1 base Server ect database s	InstallShield server and auth	d Wizard	< <u>B</u> ack	Next >	
IMai Data Sele	il Server – i base Server ect database s base server th	InstallShield server and auth	d Wizard	< <u>B</u> ack	Next >	
IMai Data Sele	il Server - ) base Server ect database s base server th	InstallShield server and auth nat you are inst	d Wizard nentication talling to:	< <u>B</u> ack	Next >	
IMai Data Sele	il Server - ) base Server ect database s base server th	InstallShield server and auth nat you are inst	I Wizard nentication talling to:	< <u>B</u> ack	Next >	
IMai Data Data Data	(I Server - ) base Server ect database s base server th base server th base server autions	InstallShield server and auth nat you are inst hentication crev	I Wizard hentication talling to:	< Back method	Next >	Cancel
IMai Data Data Data	il Server – ) base Server ect database s base server th bect using: <u>Windows auth</u> Server authe	InstallShield server and auth nat you are inst hentication cre-	I Wizard nentication talling to: dentials of the Login i	< <u>Back</u> method	Next >	Cancel
IMai Data Data Data	il Server - 1 base Server ect database s base server th bect using: <u>Windows authe</u> Server authe	InstallShield server and auth nat you are inst hentication crea	I Wizard hentication talling to: dentials of the Login :	< Back method current user	Next >	Cancel
IMai Data Data Data Conr	I Server - 1 base Server ect database s base server th bect using: <u>Wi</u> ndows authe Server auther Login ID: Paccurrd	InstallShield server and auth nat you are inst hentication cree ntication using	d Wizard hentication talling to: dentials of the Login :	< Back method current user	Next >	Cancel
IMai Data Sele Data	ii Server - 1 base Server ect database s base server th bect using: <u>Wi</u> ndows auth Server auther Login ID: Password:	InstallShield server and auth nat you are inst hentication cree ntication using	d Wizard nentication talling to: dentials of the Login :	< <u>B</u> ack method current user (D and passwor	Next >	Cancel
IMai Data Data Data Conr ©	i Server - 1 base Server ect database s base server th mect using: <u>Windows auth</u> Server auther Login ID: <u>Password</u> :	InstallShield server and auth nat you are inst hentication cree ntication using	d Wizard hentication talling to: dentials of the Login :	< Back method current user	Next >	Cancel
IMai Data Data	il Server - 1 base Server ect database s base server th mect using: <u>Windows authors</u> <u>Vindows authors</u> <u>Login ID:</u> <u>Password:</u>	InstallShield server and auth nat you are inst hentication crea ntication using	J Wizard hentication talling to: dentials of the Login :	< <u>Back</u> method	Next >	Cancel

2) Setup Type で「Custom」を選択した場合、IMail Server をインストールする各ノードで同じ機 能を選択してください。

🛃 IMail Server -	- InstallShield Wizard		×
Setup Type			
Choose the setup type that best suits your needs.			
Please select a	setup type.		
• Typical	Most commonly used features will be	installed (Recommended	0
C Complete	All program features will be installed. space.)	(Requires the most disk	
C Custom	Choose which program features you will be installed. Recommended for a	want installed and when dvanced users.	e they
InstallShield			
	< <u>B</u> ack	<u>N</u> ext >	Cancel
da IMail Coruer -	- InstallShield Wizard		V
Retwall Gerver			
Select the prog	ram features you want installed.	<b>IMa</b>	Server
Click on an icon in t	the list below to change how a feature	is installed.	
	ail Server Services Web Applications	Feature Descript	ion —
	Image: Web Client v2       Image: Web Client v	of the WebSite sture requ	uires OKB on
	Web Administration     X      Exchange ActiveSync     X      IMail Web Service	your hard drive.	
X - Pre X - Co	emium Anti-spam Ilaboration		e start settings
InstallShield			

<u>N</u>ext >

Cancel

Help Space < Back

#### 8,フェールオーバーの検証及び構築

フェールオーバーを構築するには、先に検証を行い合格した後に構築を行います。 本作業は1ノードでの作業となります。この検証に合格しなければ以降のフェールオーバー構築 ができません。

1) サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスターマネージャーより「構成の検 証」を選択します。

騙サーバー マネージャー		
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘノ	17(H)	
■ サーバー マネージャー (KGTM-33VI □ ■ 約4991	フェールオーバー クラスター マネージャー	<b>操作</b>
□ 1281	フェールオーパー クラスター マネージャー	フェールオーバー クラスター マネージャー 🔺
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ジョ フェールオーバー クラスターを作成し、フェールオーバー クラスターとなる可能性のあるハードウェアを検証して、フェールオーバー クラスターへの構成変更	■ 構成の検証
王 🌇 構成	1000 2×170390	🦉 クラスターの作成
<ul> <li>記憶域</li> <li>過いindows Server バックアット</li> </ul>	▲概要	響 クラスターの管理
≧ ディスクの管理	フィールオーバークラスターは決定す」ます。パットターの集まれで、サービスおよびアプリケーションの可用体を高めるために連携して動作目ます。クラスター化	<b>表示</b>
	されたサーバー(ノード)は、物理ケーブルとソフトウェアによって抽読されます。ノードの 1つで確否が発生すると、別のノードがサービスの提供を開始します(このプロセスをフェールオーバーと呼びます)。	プロパティ     マー     マー
	• <i>ካ</i> ጛአዿ~	
	▲ 管理	
	ーーーー フェールオーバー ウラスタリングを使用するには、ますハードウェア構成を検証してからクラスターを作成します。これらの手順の完了後、クラスターを管理でき ます。クラスターの差徴しば、Windows Server 2008、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 を実行するクラスターからこのクラスター ッパサンドプレアンジェントの気持ちた事をあった。どれできます	
	「 一 構成の検証 」	
	クラスターの作成     アンテンターの作成     オーバークラスターの作成     またはクラスターノードの     自     ロ     コー	
	クラスターの管理。     アンニールオーバークラスターを管理する	
	25スターからサービスとアプリケーションを移行します	
	▲ 詳細情報	
	Web 上のフェールオーバー クラスタートピック	
	Web 上のフェールオーバー クラスター コミュニティ	
	Web 上の Microsoft サポートページ	
<u>۱</u>		
		◀ 般 🖲 🧼 🔞 😋 😽

2) 【次へ】をクリックします。



3) フェールオーバーに利用するノード全てを選択し、【次へ】をクリックします。

👹 構成の検証ウィザー	۶.		×
サーバーま	たはクラスターの選択		
開始する前に サーバーまたはクラスタ ーの選択	一連のサーバーを検証する 既存のクラスターをテストす ます。	Sには、検証するすべてのサーバーの名前を追加します。 るには、クラスターの名前またはクラスターのいすれか 1 つのノードの	名前を追加し
テスト オプション	名前の入力( <u>E</u> ):	[	参照(B)
確認	選択済みサーバー( <u>S</u> ):	kgtm=33vm4.itdnet.local	追加(A)
検証中 概更		Kgrm-ssamsurgherungar	肖/序余(R)
101.350			
		( ** ( ( ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	the state of the
		_ < 前へ(P)   _ 次へ(N) > _	

4)「すべてのテストを実行する」を選択し【次へ】をクリックします。

響構成の検証ウィザード 🛛 🛛 🗙		
עולד אגד 🕅		
開始さする前に サーパーまたはクラスタ ーの選択 <b>テストオブション</b> 確認 検証中 概要	すべてのテストを実行するか、違択したテストを実行するかを違択してください。 テストにはインペントリ タスク、ネットワーク テスト、記憶域テスト、システム構成テストがあります。 構成全体 (サーバー、ネットワーク、および記憶域)がこのウィザードのすべてのテストに合格した場合のみ、 Microsoft はクラスター ンリューションをサポートします。また、クラスター ンリューション内のダイてのハードウェア コンボーネントは、*Certified for Windows Server 2008 R2* である必要があります。	
	<ul> <li>すべてのテストを実行する(推奨)(A)</li> <li>違択するテストのみを実行する(S)</li> </ul>	
	< 前へ(P) 次へ(N) チャンセル	

5) 【次へ】をクリックします。検証が開始します。

◎構成の検証ウィザー	4		×
🗰 確認			
開始する前に サーバーまたはクラスタ ーの選択	検証開始の準備が完了しました。 以下の設定が正しいことを確認してください。		
テスト オプション	テストするサーバー		
確認	kgtm-33vm4.itdnet.local		
検証中	kgtm-33vm5.itdnet.local		
概要			
	ユーザーによって選択されたテスト	カテゴリ	
	BIOS 情報の一覧表示	インペントリ	
	iSCSI ホスト バスアダプターの一覧表示	インペントリ	
	SAS ホスト バスアダプターの一覧表示	インペントリ	-
	。 続行するには、 [次へ] をクリックしてください。 <u>クラスター検証テストの詳細</u>		
		_<前へ(P)   次へ(N) > _ キャン	セル

検証中	次の検証テスト	を実行しています。違択したテストによっては長時間がが	る場合があります。
ーバーまたはクラスタ の選択 スト オプション	進行状況	テスト SCSI-3 永続的な予約の検証	
認 <del>II中</del> 要	100%	すべてのティスクを一致表示。 ディスクアクレスド本54時間後証 ディスクフェールオーバト-検証 ディスク学形の検証 アイルシステム検証 同時ウェールオーバー検証 複数片別の検証	국사に 금格 UBU D&。 保留中 保留中 保留中 保留中 保留中 保留中
	16%	利用可能なクラスター ディスクを一覧表示	/−F kgtm-33vm5.itd
	ノード kgtm-33	lvm5.itdnet.local からディスク 0 を検証しています	

6) 検証が終了します。合格した場合、「検証されたノードを使用してクラスターを今すぐ作成」を クリックします。不合格だった場合、再度設定を確認し、検証を実施してください。

◎構成の検証ウィザ〜	۲ 🗙
🐺 槚要	
開始する前に サーバーまたはクラスタ ーの選択	テストは正常に完了しました。構成はクラスタリングに遭しています。ただし、レポートは確認する必要 が参ります。レポートには、最高の可用性も達成するために解決する必要がある警告が含まれている ことがあります。
テスト オプション 確認 検証中	フェールオーバー クラスター検証レポート 💧
概要	ノード: kgtm-33vm4.itdnet.local ノード: kgtm-33vm5.itdnet.local
	ワイサートが作民したしホートを表示するには、しホートの表示」をグリックします。 レホートの表示(ソ) ウイサードを閉じるには、「死了」をグリックします。  検証されたノードを使用してクラスターを今すぐ作成。  クラスター検証テストの詳細

7) 【次へ】をクリックします。

攣りラスターの作成ウィ	<u>ካታጋአቃ-ወ作成ウィザ</u> -ド		
🎲 閉始する前	前に		
開始をする前に ウラスター管理用のアクセスポイント 確認 新しいクラスターの作成 概要	このウ・ザードなかうえみこを作成します。カラスターとは、共同で機能する一達のサーバーで、クラスターにされ たサービスやアプリケーションの可用性を向上します。サーバーの1つに障害が発生すると、別のサーバーがり うえみーじされとサービスやアフリケーションのホスティング信頼とします。この処理をフェールオーバーと呼びま す。 このウィザードを実行する前に、構成の修証ウィザードを実行してハードウェアとその設定がフェールオーバーク ラスターと互換性があることを確認することをお勧めします。 構成全体(サーバー、ネットワーク、および記で増知/が構成の検証ウィサードのすべてのテストに合格する場 合のみ、Microsoft はクラスター、ソリューションをサポードします。また、クラスター、ソリューション内のすべてのハ ードフェアは、Certified for Windows Server 2008 P2 である必要が知ります。 検証を実行できるユーザーは、クラスターに含める各サーバーのローカル管理者です。 続行するには、Dたへ1をクリックしてください。 検証テストに合格したクラスター、ソリューションの Microsoft サポートの運動 新したりラスターに必要な完全的たけ、P7 P1 人類構成です。 特徴するには、Dたへ1をクリックしてください。		
	次へ(N) >   キャンセル		

クラスター名を半角英数字で設定します。また利用する IP アドレスを設定します。
 このクラスター名は Active Directory 内でユニーク(一意)である必要があります。
 このクラスター名は Active Directory に登録されます。
 【次へ】をクリックします。

攣りラスターの作成ウィ	着りラスターの作成ウィザード			
👘 ካንአቃ-1	🎲 クラスター管理用のアクセス ポイント			
開始する前に サーバーの選択 クラスター管理用のアク セスポイント 確認	クラスターの管理時に使用する名前を入力してください。 クラスター名(A): [MailServer 1 つじ上の IPv4 アドレスを自動的に構成できませんでした。使用するネッドワークごとに、ネッドワークが選択されていることを確認し、 アドレスを入力してください。			
新しいウラスターの作成 概要	ネットワーク     アドレス       レ     10213.0/24     10213.43			
	< 前へ(P) / 次へ(N) > _ キャンセル /			

9) 【次へ】をクリックします。

響クラスターの作成ウィ 「「計)確認	ザード		X
開始する前に サーバーの選択 クラスター管理理用のアク セス ポイント 部記2 新しいうラスターの作成 概要	クラスターを作成する実態 ウィザードは次の設定を使 クラスター: ノード: ノード: IP アドレス:	が建っています。 使用してクラスターを作成します: IMailServer kgtm-33vm4.itdnet.local kgtm-33vm5.itdnet.local 10.21.3.43	×
	' 続行するには、Cなへ] をク	リックしてください。 < 前へ(P)  次へ(	(N) > キャンセル

10) クラスターの作成が終了します。【完了】をクリックします。

🚏クラスターの作成ウィ	ゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	X
榱要		
開始する前に サーバーの選択 クラスター管理用のアク セス ポイント	クラスターの作家	がっサードを正常に完了しました。 クラスターの作成
確認 新しいクラスターの作成 <b>概要</b>	クラスター: ノード: ノード: クォーラム: IP アドレス:	IMailServer kgtm-33vm4.itdnet.local kgtm-33vm5.itdnet.local ノードあよびディスク マジョリティ(クラスター ディスク 1) 10.21.3.43
	」 ウィザードが作成したレオ ウィザードを閉じるには、	ペートを表示するには、[しボートの表示] をグリックします。 レボートの表示(ソ).  完了] をグリックします。
		完7(E)

9,ストレージ(共有ディスク)の設定

- 1) フェールオーバーを構成する各ノードがストレージと接続している事を確認します。
- 2) 1 台のノードでディスクをオンラインにし、ドライブレターの付加とディスク名を変更します。この例ではドライブレターは「I」、ディスク名は「Drive」(I:¥Drive)とします。



 3) サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスター - クラスター名 - ノード -記憶域を右クリックし「ディスクの追加」をクリックします。



4) 利用可能なディスクより設定したストレージにチェックを入れ、【OK】をクリックします。

ラスターへのディスクの	)追加		2
追加するディスクを選択	尻してください。		
利用可能なディスク			
リソース名	ディスク情報	容量	署名/GUID
	/ − Γ κġtin-33v	3U GB	86/30902
,		OK( <u>O</u> )	++>セル(C)

5) ストレージが表示されます。



10,サービスの設定

フェールオーバーで利用するサービスを登録します。

1) サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスター - クラスター名 - サービ スとアプリケーションを右クリックし「サービスまたはアプリケーションの構成」を選択します。



2) 【次へ】をクリックします。

🧱 高可用性ウィザード	X
🌄 開始する前	ή <i>ι</i> .
<b>開始する前に</b> サービスまたはアプリケー ションの選択	このウィザードは、サービスまたはアブリケーションの高可用性を構成します。このウィザードを正常に完てすると、 サービスまたはアブリケーションを裏いす化ごうスター化とれたサーバーでエラーが発生したとき、別ののラスター化 されたサーバーが自動的にサービスまたはアブリケージュを精開しますで Cの処理をフェルオーバーと化いはす 。サービスまたはアブリケーション目在でエラーが発生すると、指定したオブションに応じて同じエンピューター上ま たはクラスターイの別のサーバー、ことで自動的に可能できます。
	メール サーバーやデータベース アブリケーションなど、複雑なアブリケーションをわうスター化する場合は、アブリケ ーションの正しいインストール方法について、アブリケーションのマニュアルを参照してください。
	クライアントがソラスター化されたサービスまたはアプリケーション(アクセスする方法の詳細 語の目研修を構成で来るサービスもとびやプリケーションの詳細
	□ 今後、このメッセージを表示しない XD)
	次へ(N) > キャンセル

3) 「汎用サービス」を選択し【次へ】をクリックします。

🧱 高可用性ウィザード	x
もっピスまれ	とはアプリケーションの選択
開始さる前に           サービスの違れ           ウービスの違れ           クライアントアクセスポ           イント           アビスの違れの違れ           レジストリ設定のレフリ           確認           高可用性の構成           概要	<ul> <li>高可用性を構成するサービスまたはアプリケーションを選択してください。</li> <li>アプイル サーバー         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
	< 前へ(P) 次へ(N) > キャンセル

4) 「IMail SMTP Service」を選択し【次へ】をクリックします。

🦣 高可用性ウィザード		×
🏷 サービスのき	選択	
開始する前に	一覧から使用するサービスを選択します:	
ションの運択 サービスの選択 クライアントアクセスポ イント 記憶地の選択 レジストリ起をのレプリ ケート 確認 高可用性の構成 概要	Shift           DS Admin Service           IKE and AuthIP IPsec Keying Modules           IMail IDAP Service           IMail OPS Service           IMail Oucus Manager Service           IMail Syst Logger           Interactive Services Detection           Interact Connection Sharing (ICS)	ま9月 このサーバーを IS メタベースの管理に対して有効 IKEEXT サービスは、インターネット キー交換 (IKE 対話型サービスへの入力のユーザー通知を有効 ホーム ネットワーンまたは小規模ガンイスのネットワ ▼
		< 前へ(P) / 次へ(N) > キャンセル

5) クライアントアクセスポイント名を半角英数字で設定します。クライアントアクセスポイント名 は Active Directory 内でユニーク(一意)である必要があります。また IMail Server のサービ スが Listen する IP アドレスを指定します。この IP アドレスを MX レコードに設定します。

「熱高可用性ウィザード 「「「」 クライアント	× • ምንዊス ポイント
開始する前に サービスまたはアプリケー ションの選択 サービスの選択 クライアント アクセス ポ イント	このサービスまたはアプリケーショムにアクセスするときにクライアントが使用する名前を入力してください。 名前(A). 1つ以上の IPv4 アドレスを自動的に構成できませんでした。使用するネットワークごとに、ネットワークが選択され ていることを確認し、アドレスを入力してください。
記念様の選択 レジストリ設定のレプリ ケート 確認 高可用性の構成 概要	ネットワーク     アドレス       マ     102138/24       1021341
	_ < 前へ(P) _ 次へ(N) > _ キャンセル

6) サービスに割当てるボリューム(接続したディスク)を選択します。

🧱 高可用性ウィザード	×
🌄 記憶域の3	選択
開始する前に サービスまたはアプリケー ションの選択	このサービスまたはアクリケーションに意い当てる記憶域ポリュームのみを選択します。 ウィザードの完了後、このサービスまたはアクリケーションに3自加の記憶域を割り当てることができます。
サービスの避地	名前
	☑ 🗉 📾 クラスター ディスク 1 💿 オンライン
クライアントアクセス ホ イント	
記憶域の選択	
レジストリ設定のレプリ ケート	
確認	
高可用性の構成	
概要	
	<前へ(P) 次へ(N) > キャンセル

- 7) IMail Server で利用するレジストリを登録します。
   HKEY\_LOCAL\_MACHINE 以下のレジストリを登録します。
  - SOFTWARE¥Wow6432Node¥Ipswitch
  - SOFTWARE¥Wow6432Node¥Softalk
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥IMAP4D32
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥POP3D32
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥QueueMgr
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥SMTPD32
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥SMTPServer
  - SYSTEM¥CurrentControlSet¥services¥IMServer

上記登録後【次へ】をクリックします。

🦣 高可用性ウィザード	×
しジストリョン	愛定のレプリケート
開始する前に サービスまたはアプリケー ションの選択 サービスの選択 クライアント アクセス ポ イント 記憶域の選択 レジストリ版定のレプリ ケート	プログラムやサービスはレジストリにデーを特徴的する場合があります。このため、プログラムやサービスが実行されて いるシード上でこのデージを使用できるようにすることが重要です。クラスター内のすべてのノードにレブリケートする 必要がめる HKEY LOCAL MACHINE OF DF しグストリ キーを指定してください。 SOFTWAREWow6432Node¥Deswitch SOFTWAREWow6432Node¥Deswitch SOFTWAREWow6432Node¥Deswitch SOFTWAREWow6432Node¥Deswitch SOFTEMCurrentControlSetWeervicesWAPT032 SYSTEMCurrentControlSetWeervicesWSMTP032 SYSTEMCurrentControlSetWeervicesWSMTP032 SYSTEMCurrentControlSetWeervicesWSMTP032 SYSTEMCurrentControlSetWeervicesWSMTP032 SYSTEMCurrentControlSetWeervicesWSMTP032
確12 高可用性の構成 概要	<b>) 道加(①</b> 形形(④) 形形(④)
	< 前へ(P) 【二次へ(N)) キャンセル

8) 【次へ】をクリックします。

ッピスまたはアプリケー	汎用サービスの高可用性	を構めする準備が登っています。
aンの選択 ービスの選択 ライアント アクセス ポ ント 地域の選択 ジストリ設定のレプリ ート 第2 両用性の構成 運	サービス: ネオワーク名: IP アドレス: レジストリキー: レジストリキー: レジストリキー: レジストリキー: レジストリキー: レジストリキー: レジストリキー:	IMail SMTP Service (SMTPServer) IMailService 10.21.3.41 SOFTWARE\Wow6432Node\Dswitch SOFTWARE\Wow6432Node\Softalk SYSTEM\CurrentControlSet\services\IMAP4D32 SYSTEM\CurrentControlSet\services\QueueMgr SYSTEM\CurrentControlSet\services\SMTP532 SYSTEM\CurrentControlSet\services\SMTP532 SYSTEM\CurrentControlSet\services\SMTP532 SYSTEM\CurrentControlSet\services\SMTP532
	続行するには、〕次へ]をク	リックしてください。

9) 【完了】をクリックし、本画面を閉じます。

<b>鱖</b> 高可用性ウィザード 「「」「」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」」「」「」」「」」「」」「」」			X
開始する前に サービスまたはアプリケー ションの選択	高可用性はサー	ビスまたはアプリケーション用に正常に構成されました。	
サービスの選択 クライアント アクセス ポ イント		汎用サービス	
記憶域の選択 レジストリ設定のレプリ ケート	サービス: ネットワーク名: IP アドレス:	IMail SMTP Service (SMTPServer) IMailService 10.21.3.41	
確認。 高可用性の構成 概要	レジストリキー: レジストリキー: ウノザーにがたましたしま。	SOFTWARE\Wow6432Node\Ipswitch SOFTWARE\Wow6432Node\Softalk	<b>•</b>
	ウィザードを閉じるには、F	「たまないう みには、レットードのまたり をクリックしょう。 そ7]をクリックします。	₩~►₩0表示(\_)
			完了( <u>F</u> )

10) サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスター - クラスター名 - サービ スとアプリケーション - クライアントアクセスポイント名を右クリックし「リソースの追加」 -「汎用サービス」を選択します。



11)利用するサービスを選択します。

警新しいリソース ウィ	チード	×
11 サービスの	選択	
サービスの選択	一覧から使用するサービスを選択します:	
VESS OF A	名前	説明 ▲
汎用サービスの構成	Health Key and Certificate Management	ネットワーク アクセス保護エージェント (NAPAgent
概要	Human Interface Device Access	ヒューマン インターフェイス デバイス (HID) を有効…
	IIS Admin Service	このサーバーを IIS メタベースの管理に対して有効…
	IKE and AuthIP IPsec Keying Modules	IKEEXT サービスは、インターネット キー交換 (IKE
	IMail LDAP Service	
	IMail POP Service	
	IMail Queue Manager Service	
	IMail Sys Logger	
	Interactive Services Detection	対話型サービスへの入力のユーザー通知を有効 💡
	The second constraint change (100)	+. 1 3.(D. 5±471949-3.7.8310 ===
		次へ(N) > キャンセル

12)【次へ】をクリックします。

雪新しいリソース ウィ ぼう 確認	<b>ザ</b> ∽ド		ji
<b>サービスの選択 施設</b> 汎用サービス の構成 概要	汎用サービス を作成する サービス: パラメーター:	5準備が整っています。 IMail IMAP Service (IMAP4D32) Files (x86)\Ipswitch\IMail\IMAP4d32.exe"	*
	続行するには、 D欠へ] を	クリックしてください。 	
		_<前へ(P) // 次へ(N)>	キャンセル

13)【完了】をクリックします。

፼新しいリソース ウィ! 健康 概要	f−F		×
サービスの選択 確認	新しいリソースオ	が正常に作成され、構成されました。	
の用すっと人の特別な	サービス: リソース: パラメーター:	IMail IMAP Service (IMAP4D32) 汎用サービス Files (x86)\Ipswitch\IMail\IMAP4d32.exe"	*
	) ウィザードが作成したレス ウィザードを閉じるには、	ポートを表示するには、[レポートの表示] をクリックします。 【売了】 をクリックします。 	 レポートの表示( <u>い</u> )
			完了(E)

14) 登録したサービスを右クリック - 「プロパティ」を選択します。

🖦 サーバー マネージャー (KGTM-33VI 🛛 IM 田 🗈 役割	ailService		
□ 副 機能	MailService		
IMailServer ITDNET.log	IMailService の概要		
□ 100 サービスとアプリケー: ③ IMailService	*( <b>4</b> )		
🗉 👰 /-F	大照: 一部オンライン 弊生・マカトン		
こは壊	B1 (300) 最先する所有者: 〈なし〉		
1 クラスターイベント	<b>見在の所有者:</b> kgtm-33vm5		
■ ■ 診断			
□ 🚰 記憶域	名前	状態	
🛞 Windows Server バックアッフ 🔜 ディスクの管理	サーバー名		
	田 🖷 名前: IMailService	(金)オンライン	
	その他のリソース		
	🍈 IMail SMTP Service	③ オンライン	
	COUNTRACTOR CONTRACTOR COUNTRACTOR COUNT	🖲 オフライン	
	このリソースをオフライン(にする(N)		
	このリソースの重要イベントの表示(H)		
	依存関係レポートの表示(Y)		
	その他のアクション(0)・・		
	前/耶奈(D)		
	プロパティ(R)		

15)「依存関係」タブをクリックし、「リソース」から「IMail SMTP Service」を選択し、【OK】をクリックします。

ail II	IMAP Serviceのプロパティ	×
全般	依存関係 ポリシー 詳細なポリシー レジストリのレプリケーション	1
ວກູ	リソースをオンラインにする前にオンラインにする必要のあるリソースを指定し	,
てくた		-
-	TMail SMTP Service	1
×	Mail Own Service	1
*	秋日美田本を1回2019年のには、ここをクリックしていたらい	-
	1番入(ħ) 【 岩川ℝ金(∩)	
IMa	挿入(①莦I除(D) ail SMTP Service	
IMa	 挿入① ail SMTP Service	
IMa	挿入(① 単除(D) ail SMTP Service	
IMa	挿入(① 肖明余(D) ail SMTP Service リソースの依存関係の動作	
IMa	挿入(① 単除(D) ail SMTP Service リソースの依存関係の動作	
IMa	挿入(① 単除(D) ail SMTP Service リソースの依存関係の動作	

- 16) 10)から 15)までの作業を下記サービス分繰返します。
  - IMail POP3 Service
  - IMail Queue Manager Service
  - Ipswitch Instant Messaging(インストールしている場合)
  - WorkgroupShare(インストールしている場合)
- 17) 追加したサービスを全て「Online」に変更します。

4 🖦 🖄 🚍 🔽 🚍		
<ul> <li>サーバーマネージャー(KGTM-38</li> <li>● (2月)</li> <li>● (2月)</li> <li>● (2月)</li> <li>● (31)</li> <li>● (32)</li> <li>フェールオーバークラスター</li> <li>● (32)</li> <li>● (32)</li></ul>	MailService MailServiceの複要 構築・一部かうイン 響音: ない 現在の作者: kgtm 33ym4	
日 ■ 18月 ● 二 ● 二 ● 二 ● 二 ● 二 ● 二 ● 二 ● 二	2015 20	状態 (*) おしうイン (*) おしうイン (*) オンライン (*) オンタイン
	Mail Usucu Manager Service     Mail Sort Logging     Comp-入をオラインにする(6)     Comp-人をオラインにする(6)     Comp-人をオラインにする(6)     Comp-人をオラインにする(6)     Comp-人をオライン(5)     Comp-人をオライン(5)     Comp-人をオライン(5)     Comp-人をオライン(5)     Allph(0)     Jのパケィ(R)     人ルグ(H)	(€)オンライン (€)オフライン (*)

11,フェールオーバー優先度の設定

 サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスター - クラスター名 - サービス とアプリケーション - クライアントアクセスポイント名を右クリックし「プロパティ」を選択しま



2)「全般」タブで優先する所有者を選択します。

IMailServiceのプロパティ	x
全般 フェールオーバー	
IMailService	
名前( <u>N</u> ):	
IMailService	
このサービスまたはアプリケーションの <mark>優先所有者</mark> を選択してください。優先 順位の高い所有者を上から順に一覧に表示するには、ポタンを使用してく ださい。	
優先する所有者( <u>P</u> ):	
✓ kgtm-33vm4 上へ(U)	
□ kgtm-33vm5 下へ(D)	
<ul> <li>■ 永続的なモードを有効にする(E)</li> <li>■ 自動開始(I)</li> </ul>	
ノード: kgtm=33vm4	
OK キャンセル 適用(A)	

12,IMail Server での設定

〈各作業共通〉

IMail Server で稼働している全てのサービスを停止してから下記 1)から 3)の作業を行います。

1) IP アドレスの変更

SMTP、POP3、IMAP4、WebAdmin 及び WebMessaging が待受けする IP アドレスは「クライア ントアクセスポイント」で設定した IP アドレスとなります。

※本書の場合、10.21.3.41 となります。

レジストリエディタより IP アドレスを変更します。修正箇所は2箇所です。

レジストリエディタは下記いづれかの方法で起動します。どちらから変更しましても問題あり ません。

- 「スタート」 「ファイル名を指定して実行」- 「regedit」から HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Ipswitch¥IMail¥ドメイン名直下
- ●「スタート」-「ファイル名を指定して実行」-「syswow64」-「regedit32.exe」から HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Ipswitch¥IMail¥ドメイン名直下

盛 レジストリ エディター				_ 🗆 🗙
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ	(H)			
COMPONENTS	名前	種類	データ	▲
😟 🔒 HARDWARE 🔤	<u>ab)(既定)</u>	REG SZ	(値の設定なし)	
😥 🛺 SAM	Address	REG_SZ	10.21.3.57	
	AllowedLoginAtte	REG_DWORD	0×0000003 (3)	
😑 🍌 SOFTWARE 📃	🔀 AllowedLoginLoc	REG_DWORD	0×00000003 (3)	
🕀 🎍 Carnegie Mellon	AllowWebSetAuto	REG_DWORD	0×00000000 (0)	
	AllowWebSetDele	REG_DWORD	0×00000000 (0)	
Clients	1 AllowWebSetFor	REG_DWORD	0×00000000 (0)	
Description	🔀 AllowWebSetVac	REG_DWORD	0×00000000 (0)	
Ling Ipswitch	🔡 DefaultUserAcce	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
	🔀 DefaultUserAcce	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
10.21.2.57	🔢 DefaultUserAddT	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
Kisi M-33VMb tidnet ic	🔢 DefaultUserAddT	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
Global	🔢 DefaultUser Allow	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
CTAV	😥 DefaultUser Allow	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
	🛛 🧱 DefaultUser Allow	REG_DWORD	0×00000001 (1)	
ssl	🛛 🧾 DefaultUserDoma	REG_DWORD	0×00000000 (0)	
Licenses	🛛 🧾 DefaultUserGrant	REG_DWORD	0×00000001(1)	
😟 🖟 Microsoft	🛛 🧱 DefaultUserListA	REG_DWORD	0×00000000 (0)	

2) ディレクトリの変更

ドメイン、spool 及び log で利用するディレクトリを変更します。 指定するドライブは「5,ストレージ(共有ディスク)の設定」で設定変更したドライブ名(及びドライ ブレター) です。

・ドメイン

変更後、【OK】をクリックします。

Editing Domain KGTM-33VM	5.itdnet.local	×
Properties	General Settings	
🕀 🕵 Users	Domain Name:	KGTM-33VM5.itdnet.local
🗄 📝 DomainKeys / DKIM Sig	TCP/IP Address:	10.21.3.41
- 🙆 Domain Trailer	Top Directory:	Erowse
	Domain Aliacec	
- 🐁 Inbound Rules	Domain Findaca-	
->>> Hacked Account Mail Ri	Options	
Commtouch Zero-Hour	Enable Personal Information I	fanagement
🖭 🧠 🤤 Anti Spam	Enable Image Suppression for	Email Messages
Milases	🗖 Enable Javascript Removal fo	r Email Messages
E-ge Attachment Blocking	Enable Microsoft Exchange A	ctiveSync
IDAP Settings	Enable Archiving	
Realtime Whitelists	Message and Mailbox Options	
	Maximum Mailbox Size:	Bytes V
	Max Outbound Message Size:	D Bytes
	Single Message Max Size:	D Bytes
	Full Mailbox Notify (Percentage):	
	Full Mailbox Notify Address:	
	Maximum Maccages	
	Maximum User Count	
	Minimum BOB Framerous (Minutes	
	Col. Maillean Organization	All and the State of Barrier
	Sup-malibox Greation:	· oreate · send to indox · bounce
	User Login Options	
	Allowed Login Attempts Before Account Lockout:	3 👘
Help		OK 🔗 Cancel 🗸 Apply

● Spool 及び Log

IMail Administration Console - System - System タブより「Spool Directory」と「Log Directory」を変更します。

※本画面内の「Top Directory」(青枠)は変更しないでください。

変更後、【Apply】をクリックします。



3) SMTP「Enable SMTP to Listen on All IPs」の有効化

IMail Administration Console – Services – SMTP – Advanced 内の「Enable SMTP to Listen on All IPs」を有効にします。【OK】をクリックします。

Services Properties		×
MAP Queue Manager Dop Marcan Marca	Max Recipients per Message: 0 == Delay Between Recipients: 0 == Max Connections: 11000 == Hello Message: Delivery Application: CVProgram Files (x Enable Extra Port Extra Port 587 Disable SMTP AUTH IF Enable SMTP to Listen on All IPs	Port: 25 Host Delimiters: @%*\$3 Maibox Delimiters: 80W[pswitchWIMaiWamtp32.exe ☐ Force AUTH on Extra Port
Help		OK 🕜 Cancel 🖌 🖌 Apply

- 4) 上記 1)から 3)作業終了後、IMail Server の全サービスを起動します。
- 5) コマンドプロンプトで IMail Server のインストールディレクトリまで移動し、 「InstallUtilityConsole.exe」をそれぞれ下記項目をパラメーターとして実行します。
  - AsPremConfig
  - Permissions
  - SqlServerConfig
  - TrailerConvert
  - UpdateOdbcFullNames
  - RollBackOdbcFullNames
  - RollBackRegistryFullNames
  - RemoveSharedFiles

例: AsPremConfig の場合

InstallUtilityConsole.exe AsPremConfig

13,フェールオーバーの確認

サーバーマネージャー - 機能 - フェールオーバークラスター - クラスター名 - サービスと アプリケーション - クライアントアクセスポイント名を右クリックし「このサービス又はアプリケー ションを別のノードに移動」より移動させるノードを選択します。

🏪 サーバー マネージャー		i de la companya de l	
ファイル(F) 操作(A) 表示(\	の ヘルプ(H)		
🗢 🔿 🙎 🖬 🔢 🖬			
🛼 サーバー マネージャー (KGTN	1-33VI IMailService		
田  ● 役割 日  ■  ###	MailService		
□ ■ フェールオーバー クラフ □ ■ ⑦ IMailServer ITDI □ ■ ♥ービスとアフ	NET loo NET loo リケー・		
□ ◎ ノード ○ 記憶域	このサービスまだはアプリケーションをオンラインにする(B) このサービスまたはアプリケーションをオフライン(こする(P)	) N 1 - Jドレeto-20.005 (*総合	<u>(</u>
田 🍈 ネットワーク 国 クラスター・	共有と記憶域の管理(N)	7 T 7 P Kgtm 30000 (24990)	
■ 論 診断 ■  ■  ■  ■  ■  ■  ■	共有フォルダーの追加(L)		
□ 🚰 記憶域	このアブリケーションの重要イベントの表示(S)		状態
🚯 Windows Server / = 📷 ディスクの管理	記:憶城の追加(D) リソースの追加(A)	•	<ul> <li>オンライン</li> </ul>
	自動開始の無効化		
	依存関係レポートの表示(Y)		ふオンライン
	表示(V)	•	オンライン
-	削/\$余(D)		③ オンライン
	名前の変更(M) 最新の情報に更新(F)		<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>
	プロパティ(R)		
	ヘルプ(H)		
		_	

移行したノードで上記画面を開き、設定した IMail Server の各サービスがオンラインとなっているかを確認してください。

14,手動で移行が必要な設定ファイル

下記に記載するIMail Server 設定ファイルは自動で移行しません。都度手動で移動を行ってください。

これらのファイルは設定を行うと IMail インストールディレクトリに作成されます。設定したが見当たらない場合は本文後半で説明しております dir コマンドを利用し検索を行ってください。

- 1) Control Access 設定 SMTP - SMTPD32.acc POP3 及び IMAP4 - POP3D32.acc ※POP3 と IMAP4 で利用ファイルは共通です。 Syslog Service - SysLogd.acc
- 2) SMTP Relay for Address 設定 SMTPD32.loc
- 3) SMTP Domain Forwarding 設定 domfwd.dfw
- 4) Commtouch Anti-spam(Premium Antispam)設定 ctasd.conf ctipd.conf
- 5) SMTP Accept List 設定 accept.txt
- 6) SMTP Kill File 設定 Kill.lst
- 7) White List 設定 white-list.txt

(検索手順)

1.スタート -> ファイル名を指定して実行 -> cmd -> OK

2.cd コマンドで階層を移動

例)C:¥>

3."dir 探したいファイル名 /s"とコマンド入力し Enter

例) SMTPD32.acc を検索した場合

C:¥>dir SMTPD32.acc /s

ドライブ C のボリューム ラベルがありません。

ボリューム シリアル番号は 08A5-FC99 です

C:¥WORK のディレクトリ

2009/09/17 12:09 100 smtpd32.acc

1 個のファイル 100 バイト

ファイルの総数:

1 個のファイル 100 バイト

0 個のディレクトリ 15,899,701,248 バイトの空き領域